【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2005-87718(P2005-87718A)
【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)
【年通号数】公開・登録公報2005-014
【出願番号】特願2003-422478(P2003-422478)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｃ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
皿部材の開口部を蓋部材によって閉鎖して形成される制御ボックスにて制御基板を収容する遊技機において、
上記皿部材と上記蓋部材の一方を上記制御ボックスの外側に延設して形成した封止板と、上記制御ボックス側の壁面を同制御ボックスの壁面と共通する共通壁面とし、上記封止板が設けられない上記皿部材と上記蓋部材の一方を上記制御ボックスの外側に延設して形成した略箱状の被挿入部と、
上記被挿入部の内部に備えられる受け部材と、
上記共通壁面を貫通する切り欠きを設けることにより形成され、上記共通壁面まで延設された上記受け部材を係合固定させる係合部と、
上記封止板を外側から貫通しつつ先端部が上記受け部材に抜け止め保持されることにより上記皿部材と上記蓋部材とを相対固定して上記皿部材の上記開口部を開放不能に封止させる挿入部材とを具備することを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
上記目的を達成するため、請求項１にかかる発明では、皿部材の開口部を蓋部材によって閉鎖して形成される制御ボックスにて制御基板を収容する遊技機において、上記皿部材と上記蓋部材の一方を上記制御ボックスの外側に延設して形成した封止板と、上記制御ボックス側の壁面を同制御ボックスの壁面と共通する共通壁面とし、上記封止板が設けられない上記皿部材と上記蓋部材の一方を上記制御ボックスの外側に延設して形成した略箱状の被挿入部と、上記被挿入部の内部に備えられる受け部材と、上記共通壁面を貫通する切り欠きを設けることにより形成され、上記共通壁面まで延設された上記受け部材を係合固定させる係合部と、上記封止板を外側から貫通しつつ先端部が上記受け部材に抜け止め保持されることにより上記皿部材と上記蓋部材とを相対固定して上記皿部材の上記開口部を

開放不能に封止させる挿入部材とを具備する構成としてある。